別表第二号　ＴＳパケットの構成（第３条第１項第３号関係）

ヘッダ部	アダプテーションフィールド及びペイロード部

４バイト　　184バイト

注１　１バイトは、８ビットとする。
　２　ヘッダ部は、ＴＳパケットの種別の識別のために使用する。
　３　アダプテーションフィールドは、ヘッダの付加情報を送るために使用する。
　４　ペイロード部は、ＰＥＳパケット及びセクション形式の情報の伝送に使用する。

別表第三号　各識別子とその機能（第３条第４項関係）

識　　別　　子	機　　能
テーブル識別子	セクションの種類の識別
記述子タグ	記述子の種類の識別
ストリーム形式識別子	符号化信号の種類の識別
サービス形式識別子	サービスの種類の識別
放送番組番号識別子	放送番組番号の識別
サービス識別子	放送番組番号の識別
ネットワーク識別子	ネットワークの識別
トランスポートストリーム識別子	トランスポートストリームの識別
限定受信方式識別子	限定受信方式の識別
システム管理識別子	放送、非放送及び放送信号形式の識別

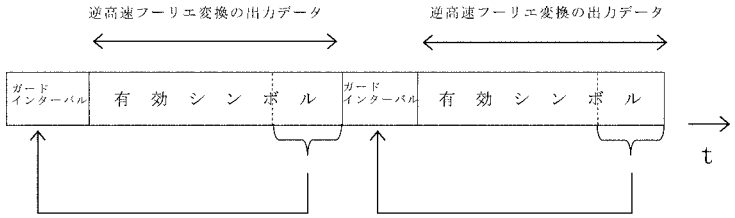
別表第四号　使用する周波数帯幅（第10条関係）

（6000／14×ｎ＋38.48）kHzを小数点以下切り上げた値

ただし、ｎは第11条第３項のＯＦＤＭフレームに含まれるＯＦＤＭセグメントの数。

別表第五号　ガードインターバルの付加（第11条第１項、第20条第１項及び第28条第１項関係）

ガードインターバルは、以下に示すとおり、逆高速フーリエ変換の出力データのうち時間的に後端の出力データを有効シンボルの前に付加するものとする。



注　有効シンボルは、別表第六号又は別表第十六号に示す有効シンボル期間長に対応する出力データとする。

別表第六号　搬送波を変調する信号を求める方程式（第11条関係）

$$s(t)=\mathrm{Re}\left\{e^{j\cdot 2\pi\cdot f_c\cdot t}\cdot\sum_{n=0}^{\infty}\sum_{b=0}^{S_1+S_3-1}e^{-j\cdot\phi(b)\cdot n}\sum_{k=0}^{N(b)-1}c(b,n,k)\cdot\Psi(b,n,k,t)\right\}$$

ここで

$$\Psi(b,n,k,t)=\begin{cases}e^{j\cdot 2\pi\cdot\frac{\left(\sum_{i=0}^{b}N(i)-N(b)+k\right)-K_{fc}}{T_u}\cdot(t-T_g-n\cdot T_s)} & n\cdot T_s\leqq t<(n+1)\cdot T_s\\ 0 & \text{その他の}t\end{cases}$$

$$\phi(b)=-2\pi\cdot\frac{T_g}{T_u}\left(\left(\sum_{i=0}^{b}N(i)-N(b)+K_c(b)\right)-K_{fc}\right)$$

$s(t)$　：ＲＦ信号
f_c　：送信波に含まれるいずれかのＯＦＤＭセグメントの中央の周波数
n　：シンボル番号
S_1　：１セグメント形式のＯＦＤＭフレームの数
S_3　：３セグメント形式のＯＦＤＭフレームの数
b　：１セグメント形式及び３セグメント形式のＯＦＤＭフレームの番号（周波数軸上左端のＯＦＤＭフレームを０とする）
$N(b)$　：ＯＦＤＭフレームｂのキャリア総数
（ただし、$b\neq S_1+S_3-1$であるＯＦＤＭフレームについては、
１セグメント形式の場合、モード１：108、モード２：216、モード３：432、
３セグメント形式の場合、モード１：324、モード２：648、モード３：1296、
$b=S_1+S_3-1$であるＯＦＤＭフレームについては、送信波全体の周波数軸上右端にあるＣＰを含めて
１セグメント形式の場合、モード１：109、モード２：217、モード３：433、
３セグメント形式の場合、モード１：325、モード２：649、モード３：1297）
$c(b,n,k)$　：ＯＦＤＭフレームｂ、シンボル番号ｎ、キャリア番号ｋに対応する複素信号点ベクトル
k　：ＯＦＤＭフレームごとのキャリア番号（周波数軸上左端のキャリア番号を０とする）
K_{fc}　：f_cに対応するキャリア番号（周波数軸上左端のキャリア番号を０とし、連続した番号を用いて表す）
T_g　：ガードインターバル期間長
（ただし、$b\neq S_1+S_3-1$であるＯＦＤＭフレームについては、
１セグメント形式の場合、$T_u=7N(b)/3\times10^{-5}$、
３セグメント形式の場合、$T_u=7N(b)/9\times10^{-5}$、
$b=S_1+S_3-1$であるＯＦＤＭフレームについては、
１セグメント形式の場合、$T_u=7(N(b)-1)/3\times10^{-5}$、
３セグメント形式の場合、$T_u=7(N(b)-1)/9\times10^{-5}$）
T_s　：シンボル期間長（$T_s=T_u+T_g$）
T_u　：有効シンボル期間長
$K_c(b)$　：ＯＦＤＭフレームｂの中央の周波数に対応するキャリア番号
（１セグメント形式の場合、モード１：54、モード２：108、モード３：216、
３セグメント形式の場合、モード１：162、モード２：324、モード３：648）